

請願一覧表

令和7年11月27日（木）

請願番号	件名	請願者	付託委員会
請願 第6号	中津川市議会議員定数の維持を 求める請願	中津川市坂下665-1 中津川市民の声を届ける会 代表 亀山 繁	議員定数等 特別委員会
請願 第7号	介護保険制度の抜本改善及び介 護従事者の処遇改善を求める請 願	中津川市駒場1493番地の 19 特定非営利活動法人中津川福 祉医療ネットワーク 代表 理事長 岩田 知子	文教民生 委員会

請願文書表

令和7年第5回中津川市議会（定例会）

令和7年11月27日（木）

受理番号	請願第6号	受理年月日	令和7年11月21日
件名	中津川市議会議員定数の維持を求める請願	紹介員 議員	木下律子 田中愛子
請願者	中津川市坂下665-1 中津川市民の声を届ける会 代表 亀山 繁	付託 委員会	議員定数等特別委員会

請願の趣旨

中津川市は、中山間地域を多く抱え、地域ごとに多様な課題を持つ広域な自治体です。現在中津川市議会において、議員定数削減について審議されています。

中津川市議会基本条例では、

「第1条 この条例は、二元代表制の下、議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく市民の負託に的確に応え、もって市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とします。

第24条 議員定数は、市政の現状と課題、将来の予測と展望等を考慮し、行財政改革の視点だけではなく、多様な民意を十分に議会に反映できるものとします。」となっています。

議員は市民の代表として、多様な民意を十分に議会に反映しなければなりません。定数を削減すれば、その分市民の民意が届きにくくなります。市民の負託に的確に応え、市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与するには、議会の体制強化が必要です。議員の削減などあってはならないと思います。

請願事項

1. 中津川市議会において、議員定数削減ではなく、現行の議員定数を維持されるよう検討を行っていただきたい。

以上、よろしくご審議の上、速やかにご採択くださいますようお願い申し上げます。

請願文書表

令和7年第5回中津川市議会（定例会）

令和7年11月27日（木）

受理番号	請願第7号	受理年月日	令和7年11月21日
件名	介護保険制度の抜本改善及び介護従事者の待遇改善を求める請願	紹介員 議員	木下律子 田中愛子
請願者	中津川市駒場1493番地の19 特定非営利活動法人中津川福祉医療ネットワーク 代表 理事長 岩田 知子	付託委員会	文教民生委員会

介護保険制度は、創設後25年経った現在、保険料の重い負担や、利用料などが高いための介護サービスの利用控えや介護離職などが多くあります。

2024年の介護報酬はプラス改定でしたが、介護職員と全産業平均の賃金格差（月額7万円）や、近年の物価高を埋めるには程遠く、介護現場の人手不足は引き続き深刻です。さらに訪問介護報酬の引き下げで、介護事業所が廃業に追い込まれる事態が生じています。

こうした中、政府は、国民の反対の声で先送りにさせた利用料2割負担の対象拡大や要介護1・2の保険給付外しなどの改悪に向けた審議を再開しました。

権利としての介護を保障するには、介護保険の国庫負担を増やし、制度の抜本改善と介護従事者の待遇改善が必要です。そこで、以下を求める請願を提出いたします。

記

以下の内容について、国に意見書を提出して下さい。

- 社会保障費を大幅に増やし、必要な介護が保障されるよう、費用負担の軽減、サービスの拡充など、介護保険制度の抜本的見直しを行うこと。介護保険財政に対する国庫負担の割合を大幅に引き上げること。
- 訪問介護の基本報酬の引き下げを撤回し、介護報酬全体の大幅な底上げを図る再改定を至急行うこと。その際サービスの利用に支障が生じないよう、利用料負担軽減などの対策を講じること。
- 利用料2割負担の対象拡大、ケアプラン有料化、要介護1・2の保険給付外しなど、介護保険の利用に重大な困難をもたらす制度見直しを検討しないこと。
- 全額国庫負担により、全ての介護従事者の賃金を全産業平均まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと。